

# 破たんしたベイエリア開発の再現 夢洲・カジノを 止めよう!

カジノ誘致を中心にした夢洲のインフラ整備や淀川左岸線などの事業費が大きく膨れ上がり1兆円規模の税金が今後投入されることとなります。

カジノ計画は、1990年代に破綻したベイエリア開発の再現、大阪破たんへの道です。



## 1兆円規模の大型開発



夢洲は「負の遺産」ではない!

ゴミ最終処分地として  
活用を!

夢洲はゴミ焼却灰の最終処分地、大阪湾の浚渫土砂、建設残土の埋立地です。長く処分地として活用することが市民の利益になります。

カジノ・万博で市民の共有財産が壊され、ゴミ有料化にもつながりかねません。

大阪にカジノはいらない!  
反対が多数です

カジノ計画は“絵に描いた餅”  
経済成長は幻想!

コロナ禍でIR・カジノは斜陽化し、中国当局の規制強化で中国人も来ません。USJの年間最高入場者数(1500万人)を大幅に上回る2000万人の入場者は“絵に描いた餅”です。

カジノで経済成長はあり得ません。

住民合意はありません!

どの世論調査でもカジノ反対が多数。住民投票条例制定を求めて法定数を超える21万人が署名しました。国への申請の前提である「住民の合意」はありません。

ギャンブル依存の被害が拡大!

カジノで2%の人がギャンブル依存症になると事業者が認めました。しかも日本人客が1,067万人/年でターゲットは日本人です。「ギャンブル依存症の対策強化」は当然必要ですが、被害が拡大した後始末でしかありません。カジノ中止が最良の依存症対策です!